

【生薬名】桑白皮 MORI CORTEX

【起源植物】ヤマグワ *Morus bombycis*



【科名】クワ科Moraceae

【別名】桑根白皮、山桑、ササクワ、イヌグワ

【薬用部分】根皮

【主成分】精油フラボノイド、クマリン類、昆虫変態ホルモン

【薬性】気味は甘辛寒、帰経は肺に属す

【効能】●瀉肺平喘・行水消腫

●肺熱による咳嗽・呼吸困難に使用する、気管支炎などに有効

●皮水に属する浮腫に使用する

●鎮咳、浮腫、利尿、高血圧、糖尿病に桑白皮1日5～10g

●百日咳には桑白皮、桔梗、麦門冬を各3gを煎じ少量ずつ服用

●血糖降下(モラノリン)、血圧降下作用(クワノンG)が報告

●糖蛋白質、モルシン、クワノンGなどのフェノール生物質に発ガンプロモーター抑制作用がある

●水溶性分画は鎮痛・瀉下・抗炎症作用がある

●高血圧、中風の予防に葉を乾燥させ、お茶代わりに飲む

●蚕砂(蚕の糞)も高血圧や中風の薬として用いられている

●疲労回復、滋養強壮薬には生の実を食べたり、桑椹を煎服(1日3～5g)したり、薬用酒にして飲む、延命の薬酒との別名あり

●『桑椹酒』生の黒く熟した実500g(桑椹は200g)、グラニュー糖150g、ホワイトリカー1.8L、1ヶ月熟成

●桑の葉はコレステロール、血糖を下げるとブームになっている

【出典】●治傷中五勞六極羸瘦。崩中脉絶。補虚益氣。葉。除寒熱。出汗。桑耳。黒者。治女子漏下。赤白汁血病。癥瘕積聚腹痛。陰陽寒熱。無子。五木耳名樗。益氣不飢。輕身強志。(神農本草經中品)

●桑白皮 甘辛、嗽を止め喘を定め肺の火邪を瀉し其の功淺からず。(薬性歌)

【備考】●クワ・カラグワ・マグワもヤマグワと同様に用いられる、養蚕に用いられるのはクワ

●春季発芽前に採取し調整したものは良品とされる

【処方例】●五虎湯